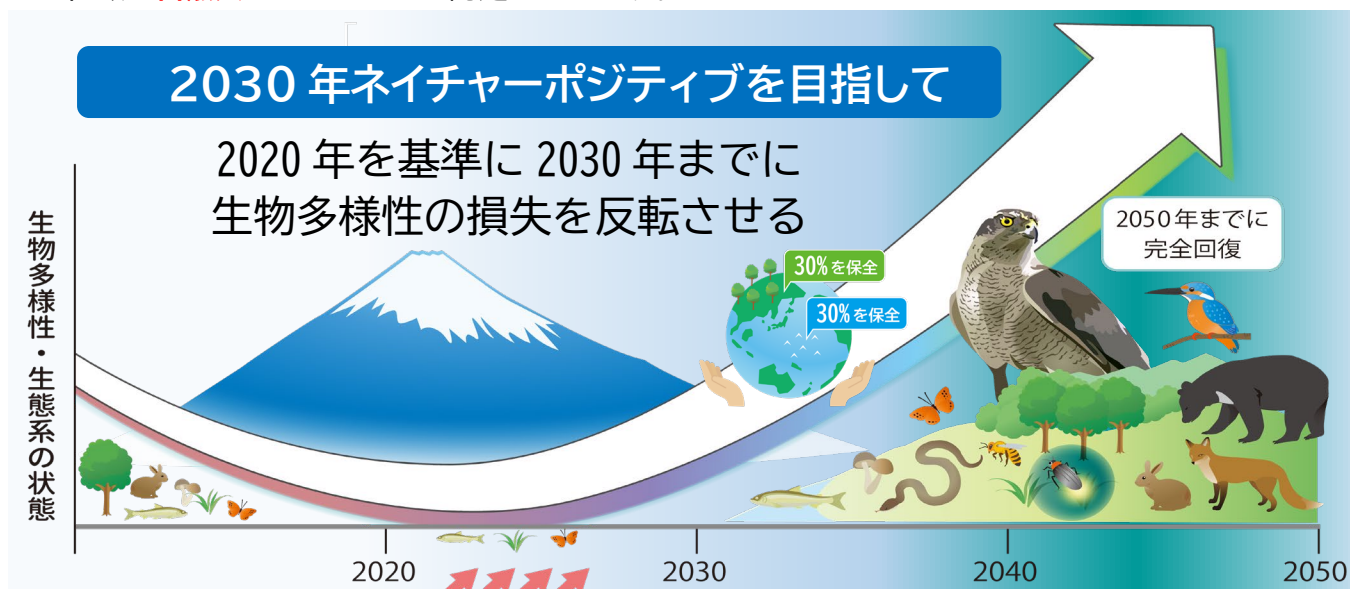


自然共生サイトの登録をサポートします

「昆明モントリオール生物多様性枠組」が採択（2022 年 12 月）され、2030 年までに生物多様性の損失を食い止め、回復軌道に乗せる **ネイチャーポジティブ（自然再興）** の目標が掲げられました。

この目標の実現に向け、**2030 年までに陸と海の 30%以上を保全する目標を 30by30** と呼びます。これらの目標を達成するため、環境省では、民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域を **自然共生サイト** として認定しています。



■サポート例

弊社は、生物多様性の保全に関わる豊富な業務経験と技術を活かして緑地等における「生物多様性の価値に関する基準」を満たす根拠資料を作成し、自然共生サイトの登録支援を行っています。

既存資料調査

- サイト周辺の環境
- サイトのアピールポイント
- 生物多様性の課題

現地調査・価値

- 現地調査（植生、希少種・在来種・外来種等）
- 生物多様性価値まとめ

活動・モニタリング計画

- 活動概要
- モニタリング調査内容
- 調査手法、時期・頻度

認定基準

境界・名称	地理的に画定された区域、区域の面積の算出、名称の付記
ガバナンス・管理	管理権限の存在、管理の均衡性、管理措置に関する基準 管理体制の長期継続性に関する基準
生物多様性の価値	場 公的機関等に、生物多様性保全上の重要性が求められている場 原生的な自然生態系が存在する場 里地里山といった二次的な自然に特徴的な生態系が存在する場 在来種を中心とした多様な動植物種からなる健全な生態系が存在する場 地域の伝統文化のために活用されている自然資源の供給の場
	種 希少な動植物種が生息生育している場、生息生育している可能性が高い場 分布が限定、特異な環境へ依存など、特殊性のある種が生息生育している場
	機能 越冬、休息、繁殖、採餌、移動（渡り）など動物の生活史にとって重要な場 既存の保護地域又は自然共生サイト認定区域に隣接する若しくはそれらを接続するなど、緩衝機能や連続性・連結性を高める機能を有する場
保全効果	管理の有効性、モニタリングと評価



【本サービスの提供エリア】

静岡県、長野県、岐阜県、山梨県
愛知県、三重県、神奈川県、富山県

株式会社環境アセスメントセンター 企画部

☎ 054-255-3650

✉ kikaku@eac-net.co.jp

🌐 <https://www.eac-net.co.jp>

環境アセスメントセンター

